



令和2年度 さいたま市立土呂中学校 学校だより

見沼のほとり

第 1 号

令和2年4月8日

学校教育目標

主体的に生きる人間の育成 <意欲・健康・豊かな心>

心はひとつに結ばれて

校長 富田 敦

今年も土呂の地に桜や菜の花のあでやかさを引き立たせるかのように春風が吹いています。今は、芝川の土手が菜の花の黄色いじゅうたんで敷きつめられ、登校する生徒を今か今かと楽しみに待っています。

開校 25 年目となる土呂中学校は、164 名の新入生を迎え、全校生徒 438 名、教職員 45 名でスタートします。開校以来の学校教育目標「主体的に生きる人間の育成」<意欲・健康・豊かな心>を継承し、その具現化を目指し、教職員一同全力で教育活動を充実させていきます。

3月の卒業にあたり、卒業生代表の大橋 拓人くんは次のように在校生にメッセージ送り、土呂中学校を巣立っていきました。「これからは皆さんが土呂中学校の主役になります。つらいことがあっても隣には必ず仲間がいます。何事にも全力で取り組んでください。僕たちは、皆さんに全てのことを伝えることはできなかったかもしれませんが、けれども皆さんなら土呂中学校をこれからもよりよくしていけると信じています。最後まで私たちについてきてくれてありがとう。」。

私はこれを「あとは頼んだぞ」という願いが私たちに送られたととらえています。私は在校生、教職員とともに、土呂中学校をさらに充実させ、卒業生のメッセージに応えていかなくては、と思っています。卒業生には式辞の中で、今から 100 年前にこの地から飛び出し、オリンピックという舞台上で世界に挑戦し、世界に追いつき追い越した蓮見 宏氏のことを話し、卒業生を送り出しました。式辞は本紙中面に掲載しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、土呂中学校も臨時休業を余儀なくされています。本校でも市の方針に沿って適切に対応していきます。

臨時休業期間に、私たち教職員は学校のホームページを使い、生徒にメッセージを送り続けました。家で寂しい思いやつまらない思いをしている生徒に「みんなのことをいつも思っているよ」という先生方の思いを伝えたかったのです。「今だからできる挑戦」「プラス思考で！自分のために時間を使おう」「みんな元気になっていますか。ぜひ自分だけの時間を大切に使ってくださいね。みんなに会えるのを心から楽しみにしています」「主役のいない学校は静かでもとても寂しいです。会える日を楽しみにしています」このようなメッセージが笑顔とともに並びました。卒業式を控えた3年生には「最後までわかってきたなら～わたしたちは忘れないようにしたい。明日は誰にも約束されていないのだということ～急に終わりがきた『あたり前の日々』、会える時間を大切に、最高の卒業式を」「卒業おめでとう！ここがゴールではない。新たな道で新たな目標へ向かって全力で突き進んでください」という惜別と激励がいくつも送られました。これがよい取組だとして読売新聞（3月14日）にも掲載されたことは誇らしく思っています。

※先生方からのメッセージは土呂中学校ホームページ内 土呂中 Topics、令和元年度の Topics はこちら、[\[3月\]](#) をクリックするとご覧になります。

保護者の皆さま、地域の方々におかれましては、様々な機会に学校へと足を運んでいただき、生徒の学ぶ姿やはつらつと活動する様子をご覧いただき、忌憚のないご意見を賜りますとともに、土呂中学校への一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

※「心はひとつに結ばれて」は校歌の一節です。

読売新聞 三月十四日

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、学校が臨時休業となった子どもたちを励まそうと、教員たちが地元ケーブルテレビの番組に出演したり、メッセージを掲げた写真をホームページ（HP）に掲載したりといった取り組みが、県内で始まっている。

さいたま市立土呂中学校では、教員がメッセージを掲げた写真を、同校HPの「土呂中 Topics」のコーナーで連日更新している。教員たちは「今できることを全力で」「いつでも希望を」といった言葉を送っている。

掲載を始めてからHPへのアクセス数が約5倍に増え、生徒たちからは「元気づけられる」などの声が寄せられているという。発案した富田校長（58）は「生徒は我慢することはかなりだと思うが、先生の顔を見て笑顔になってほしい」と話している。

3月14日(月)今日は特別の日ですが、感動しましたよ！

9日(月)今日は特別な日が続きます。臨時休業2週目です。

生徒に向けたメッセージを掲げる教員ら（さいたま市立土呂中ホームページより）

励ましの言葉 HPに
さいたまの中学校